

質問書に対する回答

奈良県教育委員会事務局文化財保存事務所

回答日： 平成24年2月6日(月)

業務名	重要文化財 称念寺本堂 耐震診断業務	
業務場所	橿原市今井町三丁目2番29号 称念寺境内	
入札公告日	平成24年1月20日	
委託業務説明会	平成24年2月1日	
	質問事項	回答事項
1	地質調査業務内の室内土質調査項目について、「液状化判定および判定に係わる土質試験」や「土質の動的変形性能試験(繰返し三軸試験・ねじりせん断試験等)」が地震動波形の作成において必要となる可能性が高いと考えるが、記載試験項目以外については別途協議となるのか、もしくは、本業務発注に含まれるものとするのか、どちらでしょうか。	地震動波形の作成及び液状化判定には、原則として本業務内で行う調査・試験結果を使用するものとしますが、試験項目等に追加が必要であれば、別途協議となります。
2	応答解析に用いる地震動波形の作成について、波形数は3波形以上と考えてよろしいですか。また、標準波とは下記に示す(財)日本建築センター【1994年研究助成版】より提供される波形と考えてよろしいでしょうか。 標準波 EL CENTRO 1940 NS 波形 TAFT 1952 EW 波形 HACHINOHE 1968 NS 波形 の以上3波形	応答解析に用いる地震動は、告示波あるいはサイト波、及び標準3波の最低4波となります。標準波についてはご指摘のとおりです。
3	奈良県および奈良県文化財保存事務所にて保存する、本業務を行う上で参考となる過去の類似案件および木造伝統構法による建物の保存修復等に係わる検証にて得られた技術資料等がございますか。また、それらの公開は可能でしょうか。	奈良県文化財保存事務所における過去の類例は1件のみですが、閲覧可能です。
4	耐震診断を行った結果について第三者機関における耐震判定評価を取得する必要はありますか。	必要ありません。
5	履行期限について、延長は可能ですか。	期限延長は出来ません。

6	実績について、木造住宅で一般診断法で耐震診断した案件は、実績になりますか。	実績となります。
7	・「現状の耐震性評価」について 「現状」とは現在の軸組み変形や部材の劣化腐朽の状態でしょうか。 部材性能などはカタログ標準値を使うことから、現状変形劣化の状態を対象にするのではないと考えてよいでしょうか。	現状変形劣化の状態については対象としません。
8	・常時微動計測時の現状のバットレス補強の丸太の扱いについて 常時微動計測を行う場合、バットレス補強のない、本堂単体での振動特性を把握する必要があると考えます。 常時微動計測の際、補強丸太の影響を除去する対応は可能でしょうか。難しい場合は、別途解析的に丸太補強の影響を評価することでよろしいでしょうか。	常時微動測定時に、補強丸太を撤去することは想定していません。解析的に評価してください。
9	・沈下解析の要否について 粘土層の圧密試験結果を用いた解析作業の具体的な内容について仕様などはありますか。解析の程度は設計者の判断でよろしいでしょうか。	地盤の性状把握については、現地調査及び各土質試験結果を総合して判定することを想定しており、具体的な仕様を定めていません。解析方法及び補強計画については、設計者の判断で行ってください。
10	PS検層の深さは30mとなっていますが、深度30m以内で $V_s \geq 400\text{m/s}$ の層が出現するとして費用を算出してよろしいでしょうか。出現しない場合は協議を行い、追加費用が発生する場合は清算していただけたらと考えてよろしいでしょうか。	地質調査については、仕様の深度以内で必要な試験結果が得られない場合、内容・費用とも別途協議とします。
11	標準貫入試験を行うにあたって、調査位置までの資材搬入、調査位置での調査機器設置スペース(約5m×5m)の確保が可能であるとして費用を算出してよろしいでしょうか。不可能な場合は協議を行い、追加費用が発生する場合は清算していただけたらと考えてよろしいでしょうか。	本堂北側のボーリング機器設置予定位置については南北方向のみ3mとお考えください。そのほかの場所については必要スペースを確保できます。特別仕様が必要な場合は内容・費用とも別途協議とします。